

「いざ」に備えて 「いま」できること

近年、東日本大震災をはじめ、さまざまな大規模災害が発生しています。昨年も、熊本地震や鳥取県中部を震源とする地震、一連の台風被害など、各地で自然災害に見舞われました。

また、近い将来、首都直下地震や南海トラフ巨大地震など、大規模地震の発生も懸念されています。

災害はいつ起こるかわかりません。しかし、いつか起こる「その時」のために、もう一度、災害に対する備えを見直してみましょう。

問合せ 消防防災課危機管理係（内線2648）

防災ハザードマップを確認

市では、平成27年4月に久喜市防災ハザードマップを全戸配布しました。防災ハザードマップには、地震と洪水による被害想定や、避難所等が記載されています。自宅周辺にはどのような危険があるか、また近隣にはどのような避難所があるか確認するとともに、災害発生時の避難場所（集合場所）や避難ルート、連絡方法等について、日ごろから家庭で話し合っておきましょう。

！確認のポイント！

①安全な避難経路

避難所までの道を事前に歩き、危険な場所がないか確認する。少し遠回りでも広くて安全な道を選ぶようにする。

②地域の避難場所

地域の自主防災組織や自治会等で、一時的に避難する場所を決めている場合があるので、隣近所で話し合い、地域のルールも確認する。

③垂直避難

浸水等により、避難所までの移動が危険な状態である場合には、自宅の2階や高層の建物に避難する「垂直避難」を行う。



家具の固定・配置の見直し

近年発生した地震によるけがの原因の30～50%が、家具類の転倒・落下・移動によるものです。

家具の固定や配置、収納等に配慮し、屋内の安全性を高めましょう。

！家具配置のポイント！

①家具の転倒防止

大型家具は、L字型金具やポール式器具（突っ張り棒）などを用いて固定する。また、家具の重心を安定させるため、重いものは下に収納する。

②避難経路の確保

避難経路、出入口周辺に転倒・移動しやすい家具類を置かないようにする。また万が一、転倒してもドアの開閉に影響が無いような配置にする。

③寝室の安全対策

寝室には転倒するような家具を置かないようにする。やむを得ず置く場合は、家具が転倒しても下敷きにならないような配置にする。

④窓ガラスの安全対策

窓際には重量物や移動しやすいものを置かないようにする。また万が一、窓ガラスが割れても、破片が飛び散らないよう、飛散防止フィルムを使用する。